

令和 2 年度精度管理講習会について

【参加者数等について】

参加施設数：140 施設 参加人数：338 名

【アンケート意見】

<第 1 部 管理者等講習会について>

- ・各分野の調査結果がまとめられており、ポイントがわかりやすく、参考になった。
- ・他施設の精度管理について知ることができる良い機会となった。
- ・例年と異なり動画配信であったが仕事の合間など都合の良いときに受講でき、便利であった。
- ・動画配信のため、繰り返し受講でき、内容を聞き漏らすこともなく良かった。
- ・動画の視聴期間をもう少し長めに設定してほしかった。

<第 2 部 検査担当者講習会について>

- ・ SARS-CoV-2 検査の基本的知識や検査法確立の経緯、精度管理について理解することができた。
- ・ 病原体核酸検査の標準化や精度管理の重要性を認識することができた。
- ・ 検査手法や検査試薬により検出限界が異なることを理解することができた。
- ・ 講習会で学んだことを自施設での検査や精度管理に活用していきたい。
- ・ 汚染リスクを考慮した検査工程の導線確保などについてももう少し詳しく聞きたかった。
- ・ 直接聴講することができず残念だったが、動画配信ならではの繰り返し聴講できたことはとてもよかった。

令和2年度東京都衛生検査所精度管理講習会開催要領

1 開催目的

衛生検査所の精度管理の向上を図るため、東京都衛生検査所精度管理調査実施要綱第9に基づき講習会を開催し、調査結果の講評を行うこととする。

2 講習会の種類

① 管理者等講習会

管理者及び精度管理責任者を対象とした精度管理調査結果の全般的な講評を行う。

② 検査担当者等講習会

検査部門の実務担当者を対象とした精度管理結果の部門別の具体的な講評及び研修を行う。

3 開催方法

(1) 概要

YouTubeによる限定公開 (URLを知っている一部のユーザーのみが閲覧可能)

(2) 公開方法

① **公開日：令和3年3月19日(金)午前10時から3月23日(火)午後5時まで**

② 事前に受講対象者宛に開催通知し、参加希望の施設に対して、限定公開 URL を送付する。

4 講習内容 別紙プログラムのとおり

5 受講対象者

① 衛生検査所・臨時の衛生検査所で参加を希望する者

② 精度管理調査に参加した病院で参加を希望する者

6 その他

受講者には令和3年3月23日(火)午後6時までにアンケートを提出してもらい、出席者の感想や講演内容の要望把握に努める。質問事項については、事務局で整理し、関係委員の意見を踏まえ、後日回答書を検査所管理者あて送付する。

令和2年度東京都衛生検査所精度管理講習会プログラム

第1部 管理者等講習会

1 調査結果の講評

「令和2年度東京都衛生検査所精度管理調査結果について」

(1) 総合評価

委員長講評 15分 東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授 石井 良和

(2) 検査項目別評価

生化学	15分	順天堂大学附属浦安病院 臨床検査医学科准教授	三宅 一徳
血液学	15分	順天堂東京江東高齢者医療センター 臨床検査科長	佐藤 尚武
血液学	15分	東京医科大学臨床検査医学講座特任教授	福武 勝幸
免疫学	15分	東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科准教授	田中 朝志
微生物学	15分	日本大学病院 臨床検査部 主任	下口 和雄
微生物学	15分	東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部副技師長	佐々木 雅一
細胞診	15分	東京慈恵会医科大学 産婦人科教授	山田 恭輔
病理学	15分	東京都健康長寿医療センター病理診断科部長	新井 富生
寄生虫学	15分	東京医科大学病院渡航者医療センター教授	濱田 篤郎
遺伝子検査	15分	東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授	石井 良和

2 第39回調査を振り返って

東京都医師会精度管理委員会委員長 齋藤 英治

第2部 検査担当者等講習会

講演 東邦大学医学部微生物・感染症学講座教授 石井 良和

テーマ：『SARS-CoV-2 に対する病原体核酸増幅検査と精度保証

～国際標準化も含めて～』